



森の宝石 オオセンチコガネ



綾ユネスコエコパーク内には、チヨウヤガ、ハチ、ハエ、バッタ、カメムシなどたくさんの多様な昆虫が生息しています。そのうち、甲虫は1069種も確認されています(甲虫学会データより)。

昆虫の調査は、網で昆虫を捕まえるイメージがあります。しかし、より効率的な方法としてF-I-T(フライト・インターセプト・トラップ)やベルレーゼ装置などのトラップ(わな)を使うことがほとんどです。これは近海での定置網と似たような発想の仕掛けで、地面や空中にアクリル板をセットし、それにぶつかった昆虫を捕獲する装置です。

町内では、綾町イオンの森をはじめ大森岳林道、多古羅に装置を設置し調査が行われました。その結果、イオンの森で153種、多古羅で161種、大森岳林道で196種の昆虫を捕らえることができました。

甲虫の中で特に美しいものに、オオセンチコガネがあります。赤味を帯びた紫色で金属光沢があるのが特徴です。青や緑など場所によって色彩が決まっていることもあり、オオセンチコガネは糞虫の仲間ですが、糞玉を転がすことはありません。馬糞の下にトンネルを掘り、そこにためた糞に卵を産み付けるので、馬事公苑などでキラリと光る姿を見かけることがあります。

綾ユネスコエコパーク内に、一般的なオオセンチコガネとは異なる色を持つ個体がいる可能性もあります。皆さんもぜひ探しに出かけてみてください。

※甲虫とはノコガネムシやテントウムシのように、硬いさやばねで背が覆われている昆虫類

多古羅に設置した捕獲装置「FIT」



緑の光沢がある個体(右.奈良県)と青みがある個体(左.京都府)



綾町で採集したオオセンチコガネ

綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp> ※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
感染症の影響による休館等の情報はホームページで随時更新します

ニホンミツバチ

日本にもともと住んでいるミツバチです。体の色はやや黒っぽく、しつかりと縞模様があります。木に空いた穴(樹洞)や屋根裏などに巣を作りますが、巣箱で養蜂をしている場所もあります。

近年、農薬をあまり使用しない綾町の耕作地周辺にはニホンミツバチが多く、日向夏ミカンなどの果樹の花粉を運ぶ重要な役目も果たしていることが宮崎大学の研究で明らかになりました。そこでユネスコエコパーク推進室では、イオン環境財団と連携し綾町イオンの森にニホンミツバチのエサとなる花が咲く樹木を植えています。ニホンミツバチの生息をサポートし、周辺の果樹園での日向夏ミカン栽培に貢献することを目指す新たな里山再生の取り組みです。



NEWS!



イオンモール宮崎(宮崎市新別府町)のノースモール2階に綾町イオンの森展示区画が設けられました。

大型パネルでは、イオンの森を散策するコースのイラストマップが展示されているほか、デジタル看板にはイオンの森に生息する動植物を確認できるタッチパネルや、綾町の豊かな自然や農産物などをPRする動画もあります。また、イオンの森散策マップや綾町を紹介する各種パンフレット、ふるさと納税カタログなども設置されています。

この展示は3年間継続して行われる予定で、綾町での里山再生や持続可能性向上のための取り組みをイオン環境財団などと協働でアピールしていきます。